

委員氏名

- | | | |
|------|-------|------|
| 委員長 | 伯爵兒玉 | 秀雄君 |
| 副委員長 | 男爵宇佐川 | 一正君 |
| | 侯爵細川 | 護立君 |
| | 子爵高倉 | 永則君 |
| | 子爵井上 | 匡四郎君 |
| | 子爵秋田 | 重季君 |
| | 子爵西尾 | 忠方君 |
| | 荒川 | 義太郎君 |
| | 男爵名和 | 長憲君 |
| | 男爵伊藤 | 文吉君 |
| | 石渡 | 敏一君 |
| | 加太 | 邦憲君 |
| | 川上 | 親晴君 |
| | 湯淺 | 倉平君 |
| | 犬上 | 慶五郎君 |

大正十二年三月十四日(水曜日)午前十時四十分開會
 ○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 只今カラ委員會ヲ開會イタシ
 ○國務大臣(山梨半造君) 私ハ本法案ニ付キマシテ概略説
 明ヲ中上ゲヤウト思ヒマス、本法案ノ提出ノ内容ハ本會ニ
 於テ説明シテ置キマシタガ、尙ホ少シク敷衍シテ中上ゲテ
 置カウト思ヒマス、此法案ノ馬産ノ振興ニ好結果ヲ來ス所
 以ヲ明ニ茲ニ陳述シタウト思フ、競馬ハ種馬ノ能力試驗ヲ
 スルモノデアリマシテ、試驗ニ合格シタルモノ即チ競馬ノ
 優勝馬ハ殖産用トシテ高價ニ賣ラレルノミナラス、元來此
 競馬ハ其新陳代謝方極メテ早イモノデアリマスル爲ニ、
 多數ノ候補馬ヲ要スルト云フヤウナ譯ニナルノデアリマ
 ス、ソレガ爲ニ此競馬用馬匹ノ價格ノ騰貴、ソレカラ此馬ノ
 澤山要ルト云フコトガ此馬産業者ニ著シク刺激ヲ與ヘマシ
 テ、サウシテ馬ノ改良増殖ニ直接貢獻スルト云フ、斯ウ云フ
 コトニナルノデアリマス、又此競馬ガ愈々實施セラル、ヤウ
 ニナリマス、此競馬俱樂部ハ經濟上自立スルコトガ出來
 得ルヤウニナリマスル爲ニ、現在之ニ獎勵金等ヲ與ヘテ居
 リマスルガ、之ヲ下附スルコトヲ止メマシテ、他ノ產馬獎勵
 費ニ轉用スルコトガ得ルヤウニナルグラウト思ヒマス、ソ
 レガ爲ニ馬匹ノ獎勵ノ爲ニ有效ナル間接ノ作用ヲスルモノ
 ト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ競馬馬ニ付キマシテ
 ハ競馬馬ハ何ツデモ細イト云フコトノ弊害ガ論ゼラル、

ノデアリマスガ、是ハ競馬場ニ於テスル表面ノ觀察ニ過ギ
 スノデアリマス、成程競馬馬ハ一見スルト極ク細イヤウニ
 見エマスルガ、是ハ極度ノ強健法實施ニ基イテ不用ノ脂肪
 分ヲ除去シタニ過ギナイノデアリマス、ソレデアリマスカ
 ラ、此馬質ヲ一般普通ノ飼養狀態ニ移シマスルト立派ナル
 體格ヲ備ヘマシテ外貌モ亦非常ナ立派ナモノニナルノデ
 アリマス、ソレデアリマスルカラシテ競馬ニ於テモ決シテ
 薄ツペラノ馬ヲ費用スルモノデアリマス、右中上ゲ
 タ通りノ次第デアリマス、併ナガラ此競馬其モノノ實施ノ
 方法ヲ誤マラシメタ時分ニハ、即チ適宜ノ短距離競争ト云
 フヤウナコトニナリマス、細クテ一時速力ヲ出ス馬ヲ
 使用スルト云フヤウナ弊害ガ起ルノデアリマス、デアリマ
 スルカラシテ此競争ノ距離、馬ノ負擔量等ノ増減ニ依テ、此
 細イ馬ヲ造ルト云フコトヲ豫防シ得ルコトニナリマシテ、其方法
 宜シキヲ得マスレバ、決シテ細イ馬ヲ出スト云フヤウナコ
 トハナイノデ、本會議ニ於テモ中上ゲマシタ通り本法案ニ
 於キマシテハ風教上ノ害ヲ除去スルコトニ關シテ多大ノ注
 意ヲ拂ツタ次第デアリマス、ソレデアリマス規定シテ居ル所
 ノ内容ヲ申シマスルト云フト凡ソ五項ニ之ヲ縮メルコト
 ガ出來マス、即チ第一勝馬投票券ノ券面金額ハ五圓以上二
 十圓以下トシ競馬一競争ニ付一人一枚ヲ限り發賣スルコ
 トヲ得第二勝馬投票券ノ券面金額ハ勝馬投票
 券ノ券面金額ノ十倍ヲ超エルコトヲ得ズ、第三生徒未成年
 者及當該競馬ノ關係者ニ對シ勝馬投票券ヲ發賣スルコトヲ
 得ズ、第四、主務大臣ハ必要アリト認ムルトキハ競馬ノ停止
 勝馬投票券發賣ヲ停止、制限等ノ處分ヲ爲スコトヲ得、第
 五、本法ノ規定ニ違反シ勝馬投票券ヲ發賣シタル者ハ三年
 以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス、斯ウ云フコトニ
 ナリマス、大要此五項ニ中上ゲタ通りノ次第ニ致シマシテ、
 爲シ得ルガケノ弊害ヲ防遏スルヤウニ出來テ居ル次第デ
 アリマス、更ニ詳細ニ涉リマシテハ、茲ニ馬政局長官方來テ
 居リマスカラ、馬政局長官方更ニ説明ヲサセマス
 ○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 陸軍大臣ハ他ノ委員會ノ方ニ
 行カレルトコトニナリマシテ、餘リ長ク今日茲ニ居ラレ
 ルコトガ出來マセヌサウデアリマスカラシテ、陸軍大臣ニ
 對スル御質問ガアレバ、其方ヲ先キニ御質問ヲ願フタラ便宜
 ト考ヘマス

○湯淺倉平君 陸軍大臣ハ馬政委員會ヲ以テ不要ノ機關ナ
 リト認メラレテ居ルノデアリマセウカ、否カ、今回陸軍省ノ
 御提案ノ馬ニ關スルモノニ付キマシテハ、實ニ種牡馬検査
 法中改正法律案ヲ御提出ニナリ、更ニ競馬法案ヲ御提出ニ
 ナリテ居リマスガ、此二ツノ法律案ニ付テハ、何レモ馬政委
 員會ニ御諮問ハナカッタノデアリマスガ、馬政委員會創設以
 來在郷軍馬ニ關スル、此馬政ノ事ニ關スル勅令ノ案、省令ノ
 案、左様ナ事ニ付テハ、事細大トナク悉ク馬政委員會ニ御諮
 問ニナリテ居ルノデアリマスガ、單リ此二ツノ法律案ニ付テ
 ハ、全然馬政委員會ニ御諮問ハナイ、而シテ馬政委員會ハ、
 昨年モ、今年モ、僅ニ議會開會中ニ一回開催サレタノデア
 リマス、此重要ナル法律案ニ付キマシテ、何等ノ諮問ノナイ
 ト云フコトニ付キマシテハ、甚ダ了解ニ苦シム次第デアリ
 マス、過日本會議ニ於キマシテ、大要唯今御尋イタシテ居ル
 ヤウナ趣旨ノ御質問ガアリマシタノニ對シテ、陸軍大臣ハ
 御答辯ニナリテ居リマスガ、其御答辯ハ何カ馬政委員會ノ答
 申ノ極ク一部分ヲ御朗讀ニナリタガデアリマシテ、之ヲ御
 諮問ニ相成ラヌ趣旨ニ付キマシテハ、今以テ私共了解ニ苦
 シム次第デアリマス、如何ナル御都合ガアリマシタカ、如何
 ナル事情ガアリマシタカ、其理由ニ付テ承リタイ
 ○國務大臣(山梨半造君) 私ハ馬政委員會ヲ決シテ不要ノ
 機關トハ存ジテ居リマセヌ、必要ノモノト思フノデス、サウ
 シテ私ノ考ヘデハ、一昨年ヲ以テ既ニ第一期ニ於ケル所ノ
 主要條件ハ、本會議デモ申上ゲマシタ通り、唯此馬政法其者
 ノ決定ト、斯ウ心得テ居リマス、第二期ニ移リマス爲ニハ、
 其計畫ガ出來上リ次第、是ハドウシテモ詳細ニ涉リテ御研究
 ヲ願ハナケレバナラヌコトト思フ、第二期ノ計畫ハ、即チ是
 ハ陸軍省ニ於テ行フコトナクシテ、之ヲ移管先ノ農商務省
 デ行フコトニナリマシタ爲ニ、之ヲ中止シタ次第デアリマ
 ス、サウシテ其競馬法ノ決スルト云フ時ニ於キマシテ、我
 ガ此馬政委員會ニ掛ケナカッタコトハ、私ガ本會議申上ゲ
 テ置イタ通り、實ハ私ハ決シテ之ヲ不要トモ思フテ居ラス、爲
 シ得ル限り此御研究ヲ願ハナケレバナラヌコトト思フテ居
 タ、處ガ私ガ概略申上ゲマシタ通り、實ハ此馬政ニ關スル競
 馬ト云フコトハ御認メテ置キ、其時期ト方法等ニ付テ
 ハ、追々テ評議スルコトニナリテ居ラタ、ソレト同時ニ此馬政
 委員會ノ論究ニ於テハ、略、競馬法ノ注意スベキ點、大凡防
 遏セバナラヌ點ト云フヤウナコトハ、詳細論究サレテ居リ
 マスル爲ニ、ソレニ隨テ實ハ消極的ニ作ラタ案デアリマス、
 デアリマスカラシテ、之ヲ御掛ケシタウト思ヒマシタガ、此
 前申上ゲマシタ通り、時日モナク致シマシテ、其時機ヲ得マ

セズノデ、甚ク殘念デアリマシタガ、御趣旨ノ在リマス所ノ大凡標準ヲ得マシタ爲ニ、ソレニ依テ實ハ作リマシタガ、

時日ガナカッタカラシテ、之ヲ提出スル前ニ一ツ皆様ニ御示シテ置カヌケレバナラヌト云フコトカラ、急遽之ヲ決行シテ次第デアリマス、是ハ時日ガナクシテ諮問シナカッタノ

デ、是ハ當事者トシテモ甚ク殘念ニ思フ次第デアリマス、決シテ是ハ不要ト見テ譯デアリマセヌ、サウシテ此答申案ノ一部ヲ朗讀シテ、ソレヲ糊塗シタヤウナ仰セデアリマ

スガ、ソレハ唯上山君ノ御質問ニ於テ、馬券ガ伴フテ居ラヌ競馬ダト云フヤウナ風ノ、私ハ御意志ガ在ルト思ヒマシタ

カラ、此答申ハ馬券ノ伴フ競馬ト云フ其必要ノコトダケラ、實ハ私ハ讀上ゲタノデアリマス、ソレカラ種牡馬ノコトニ

付テデアリマスガ、是ハ唯私ハ重要ノ件ニモ思ヒナカッタノデアリマス、ソレハ實際ノ經驗ニ於テ、此當事者ガ一年ノ補

助ト云フコトデハ、餘リニ短期ニ失スル、今日ハ種牡馬ノ素質ガ進んで参ッタカラ、三年位ハ補助スルガ宜イト云フマス、

ソレデ實ハ此事ハ馬政委員會ノ審議ヲ經ナカッタ次第デアリマス、是ハ私ハ其實用上實際ニ適フコト云フヤウニ衆論ガ

ナリマシタ爲ニ、是ハ其事ガ信用シ得ラレ、別ニ御諮リスル必要ガナイト、斯ウ實ハ感シタ次第デアリマス、ソレ故ニ

此二案トモ掛ケナカッタ譯デアリマス、決シテ其機關私ハ不要視シタ譯デアリマセヌ、ドウカ左様御了承ヲ願ヒマ

ス

○湯淺倉平君 唯今ノ陸軍大臣ノ御答辯ヲ伺ヒマス、過日本會議ニ於ケル上山君ノ質問ハ馬券ヲ伴ハザル競馬ニ付

全然私ノ諒解ニ苦シム次第デアリマス、重ねテ御答辯ガアリマスレバ伺ヒマス

○國務大臣(山梨半造君) 仰セノ通り司法部ニ於キマシテ、又内務省ニ於キマシテ、其當時不審トシテ全然同意ヲ得

ナカッタノデアリマス、是等ノ各省ト實ハ審議シ、ソレノ同意ヲ得ル爲ニ非常ナル時日ヲ要シタノデアリマス、ソレノ

司法部ニ於テモ、是ナラバ先ヅ害ハナカラウト云フ、斯ウ云フコトニ決定シマシタ時ニハ時日ハ既に切迫シタノデアリ

マス、内務省ノ方デモ是ナラバ取締ガ出來ラウ、斯ウ云フヤウシタ時ニハ時日ガ切迫シタ次第デアリマス、事情ハ

斯ノ如キ次第、其時日ヲ切迫シタノハサウ云フコトニ基

因シタノデアリマス、ドウカ之ヲ御諒承ヲ……

○湯淺倉平君 時日ノ切迫シタガ爲ニ、御諮問ニ相ナラナ

カフコト云フコトハ、一應御都合ハ拜承イタシマスルガ、兎

モ角議會ノ會期ハマダ相當餘日ノアル場合、馬政委員ヲ御

召集ニハナツテ居ル、而カモ御召集ニナツタ上デ此法案ヲ斯ノ如ク閣議ニ於テ決定シタカラ報告スル、斯ヤウナコト

ニ止メラレタノデアリ、御諮問ニナリマスレバ、馬政委員會ニ於テドレ丈ノ時日ヲ掛カリマセヌケレドモ、

見込ノ相違ト致シマシテ、馬政委員會ニ於テ當時馬券ヲ伴フ競馬法ヲ必要ナリト断定スル答申ハ致シテ居ラヌ管デア

ル、是ハ其當時ノ司法部ノ方ニモ人ノ更迭ガアリマスル内務省ノ方デモ人ガ更テ居リマスカラ、今日ニ於テ或ハ司

法省内務省ノ諒解ヲ得ラレタト云フコトデアリマス、其當時ノ政府側ノ馬政委員ハ疑ヲ持ッテ居ラレタ、ソレ

故其疑ヲ持ッテ居ル人ノ含レテ居ル馬政委員會ノ答申デアリマスルカラ、馬券ヲ伴フ競馬法ヲ以テ必要ナリトスル

致シテ居ラヌ、其點ニ付キマシテ陸軍大臣ノ本會議及ビ只今ノ御答辯ハ全然ニ事實ニ相違イタシテ居ルト考ヘル

○國務大臣(山梨半造君) 私ノ諒解カモ知レマセヌガ、答申案ニハ斯ノ如クアルノデアリマス、私ハ全部朗讀イタシ

マス「馬匹」能力ノ向上及優良馬匹ノ生産ヲ獎勵スルハ國防上ノ急務ニ屬スルヲ以テ其獎勵ノ一法トシテ競馬法ヲ制定

シ極メテ嚴密ナル監督ノ下ニ馬券ノ發行ヲ許スコトハ歐米諸國ノ實蹟ト我馬産會ノ現狀ト照ラシ事情止ムヲ得ザル

モノトスルモ今ヤ世界平和僅ニ成リ大戦ノ餘響民心ニ波動ヲ及サントスルノ秋ニ方リ此種ノ制度ヲ設ケルコトハ最慎

重ナル考慮ヲ要スルニ依リ其方法時期ニ關シテハ更ニ廟議ヲ盡サレムコトヲ望ム「斯クアリマス」ノデ、私ハ競馬法ヲ制定シテ、極メテ嚴密ナル監督ノ下ニ馬券ノ發行ヲ許スト云

フコトニ付テ、御同意ニナツタモノト實ハ認メタノデアリマ

ス、ソレデ又如何ナル監督ノ下ニ如何ナル方法ニ依ッテ馬券ヲ發行スルカ云フヤウナコトヤ、之ヲ實行スル時期ニ於

ナツヤウニ私ハ思フテ居リマス、斯クノ如キ事情デアリマシタカラ、司法省ノ同意ヲ得ル、ト云フコトニ餘程努メテ、隨分司法省トモ話合ノ上、此同意ヲ得クノデアリマス、先ヅソレデ一番ノ不道理ノ點ガナクナルヲラウト見テ、始終ソコニ心膽ヲ盡シタ次第デアリマス、又數次ノ協議ヲ致シテ、ヤウヤウ先ヅ此案ガ、今月私ハ十日頃ト思ヒマス、ヨウヤウソレガ纏リ掛ケテ、ソレヲ又法制局ハ廻シテ法文ヲ作ルト云フヤウナコトニナツテ、漸次時日ヲ費シテ了ヒマシテ、私ガ申ス通り、矢張り私モ甚ダ遺憾ト思ヒマシタガ其時日ノナイ爲ニ斯ノ如クナツタ次第デアリマス、私モ其方法手續ハ矢張り満足ニ思フテ居ラス、甚ダ私モ満足ニ思フテ居ル、サウ云フ事情已ムヲ得ナカッタ譯デ、私ハ決シテ等閑ニ附シタトカ何ト云フヤウナコトデナカッタ、ソレダケハ御了承願ヒタイ

○湯淺倉平君 我ハ唯今ノ陸軍大臣ノ御答辯ニ満足イタスモノデアリマセヌガ、之ヲ繰リ返ヘシテ論争スルニ忍ビマセヌカラ、他ノ點ニ付キマシテ一言伺ヒタイト思フ、是ハ事柄ハ必ズシモ陸軍大臣ノ御答辯ヲ必要ト致ス次第デゴザイマセヌガ、過日本會議ニ於キマシテ、陸軍大臣ガ私ノ質問ニ對スル御答辯中、甚ダ私ニ取リマシテ、甚ダ不愉快千萬ニ考ヘル御答辯ガアツタノデアリマス、唯當日ノ模様ヲ見マスト、アトニ多クノ通告者ガアリ多數ノ日程ガ上程クナイ居リマシタ次第、徒ラニ時間ニ費スルモ甚ダ面白クナイト考ヘマシタカラ、繰リ返シテ御尋ネ致シマセヌダ結果ガアルデアラウ、サリナガラ農耕用ノ馬ニ付テノ效果ヲ疑ウト云フコトニ對シテ、痲ノ強イ馬ノ血ヲ受ケタ馬ノ飼養管理ハ困難ナリ、且ツ經費ヲ多カラシメルト云フ恐レガナイカト云フコトニ對シテ、陸軍大臣ハ、斯様ナ趣旨ノ御答辯ヲ爲サツテ居リマス、即チ痲ノ強イト云フコトハ、在來ノ三春馬ノ如ク、唯ビンノ跳ネル馬ヲ以テ痲ノ強イト云フ趣旨デハナイノデ、痲ノ強イト云フハ、馬ノ神經ノ鋭敏ニシテ且ツ優良ナト云フ意デアツテ、驛馬ト云フ意味デハナイ、ソレ故ニ優良種ノ血ヲ混タ馬ノ飼養管理ハ却テ容易デアアル、斯様ナ趣旨ノ御答辯ニナツテ居リマス、私共馬ニ付テハ素人デアリマスルケレドモ、大正八年以來馬政局ノ技術官、其他ノ方ヨリ詳細ノ説明ヲ伺フテ居ルノデアリマシテ、痲ノ強イト云フ意味ガ唯在來種ノ御尋難イ野性ヲ帶ビタ馬ト云フ説テ御尋ネシタノデハ、全然ナイノデ、私ハ此點ニ付キマシテハ、私ハ陸軍大臣ハ、甚ダ議員ヲ輕シテラテ御答辯デアアルト思フ、併ナガラ其コトハ、私ノ感想デゴザイマスカラ、多クヲ申シマセヌガ、私ノ御尋不致シマシタ趣旨ハ、犬ニシテモ人ニシテモ、優良ナモノハ飼養管理ニ多クノ費用ヲ要スル、又

之方或意味ニ於テ甚ダ困難デアアル、人ノ飼養スルト云フハ甚ダオカシイ譯デアリマスガ、人間デモ生養、或ハ未開ノ種類ノ者デアレバ、病氣ノ種數モ少イ、病氣ニ罹ラタ時分ニシテモ治療スルニモ容易デアアル、犬ニシテモ左様デアリマスガ、馬ノ優良ナ血ヲ混ヘルト云フコトハ、其結果ハドウナカト云フコトハ、非常ニ注意ヲ拂ハナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ當然ノコトデアアルト私ハ思フ、病氣ニ罹ラタ時ニ於キマシテモ、改良サレナイ馬ハ、病氣ノ治療モヤサシイ、犬ニ付テ見マシテモ、極メテ簡單ナル治療ニ依テ病氣ヲ治療セルコトガ出來ル、併ナガラ優良ニ改良サレタモノデアリマスレバ、極メテ「デリケート」ニナツテ來ル、從ツテ之ガ飼養ニ注意シ、管理ニ注意シ、一通リデナイ困難ガアリマス、且ツ費用ヲ多カラシメル、斯様ナ趣旨ヲ以テ御尋ネシタノデアリマスガ、ソレニ對シテ全然ノ誤解ノ上ニ且ツ議員ニ對シテ甚ダ面白カラヌ態度ヲ以テ御答辯ニナツテ居ル、ソレ故ニ其點ニ付キマシテハ、私ノ疑ヒハ今尙未殘ラテ居ル次第デアリマス、成ル程調御サレタル馬ガ御尋易イト云フコトハ論ナイコトデアアルト思フ、唯優良ナル血ヲ混ヘタ馬ハ是ハ飼養管理ニ付テ非常ニ特別ニ注意ヲ拂ハナケレバナラヌ、特別ノ飼養管理ヲシナケレバ、ナラヌ飼養管理ニナラヌ付テハ、ドウシテモ困難ガアルト云フ事實ハ御認メニナラナケレバナルマイト思フ、ソレハ成程現在ノ田舎ノ和種ノ馬ヲ御尋テ行クト云フコトニ付テハ、是ハ餘程御尋難イコトデアリマセウ、併シナガラ軍馬トシテ御使ニナル馬ハ、非常ニ調御シテ居ル、幼駒カラ初メテ非常ニ練習ヲ經テ、サウシテ誠ニ御尋易イ立派ナ馬ガ出來ルト云フコトデアリマスルカラ、ソレヲ以テ在來ノ馬ノ野性ノ多イ馬ト比較シテ飼養管理ガ改良サレタルモノノ方ガ極メテ容易デアアルト云フ御答辯ハ、私ハ適當ナ御答辯トハ伺ヒ兼ネル、其點ニ付キマシテ今一ツ御答辯ヲ願ヒマス

○國務大臣(山梨半造君) 全ク誤解シテ居リマス、「シヤウ」ト云フハ、飼養管理ニ付テ分リマシタ、私ハ「シヤウ」ト云フハ、使フコト云フコトニ考ヘマシタカラ、ソレデアリヤウナ御答辯致シマシタ、ソレガ私ハ、全ク誤解ヲ致シマシタ、「シヤウ」ト云フコトヲ私ハ飼養管理ニ付テハ、實ハ思ハナカッタ、使用管理ト云フコトニナリマスカラ、使フコト云フ、唯ソレヲ入レテ管理シテ居ルノハ如何ニモ困難デアアルト、實ハ私ハ斯ウ取ツクノデアリマス、ソレデ是ハ昔ノビンノシタ馬ガ使用ニモ困難、管理ニモ困難、斯ウ云フコトカラ、私ハ早合點ヲ致シテ實ハ答辯ヲ致シタノデ、誠ニ私ノ誤解デアリマス、茲ニ誤解ヲ私ハ解イテ置キマス

○湯淺倉平君 陸軍大臣ノ御誤解ハソレト致シマシテ、飼養管理ガ普通ノ農耕用ノ馬ニ付テ改良サレタル馬ノ飼養管

理ガ困難ナリト云フ事實ハ御認メニナルノデスカ

○國務大臣(山梨半造君) 是ハ私ハ其習慣性ニ依ルモノト思ヒマス、例ヘバ西比利「コサック」ノ馬ノ如キ、今回日本ノ馬ト比較シテ見マスト云フト、其飼養管理ハカナカナ簡便ニ出來テ居ラ、ソレデ「コサック」等ガ日本ノ飼養管理ヲ見マシテ是ハ馬ヲ弱クシテ仕舞フノデアアル、斯ウ云フヤウニ實ハ申シタノデゴザイマスルガ、是ハ私ハ實ニ習慣ニ依ルモノト云フ考ヘデ居リマス、「コサック」ノ馬ガ決シテソレデハ優良デナイカト云フト優良種ナノデ、是ハ詰リ競馬馬ガ被布ヲ被ツテサウシテ諸方ニ引カレテ運動スルト云フヤウニ、斯ノ如ク取扱ヘバ直ダ病馬ニナル、斯ウ云フヤウナコトガ起ルト思フ、ソレデ優良種カラ特ニ優待セナケレバナラヌト云フコトハ、私ハ餘リナカラウト思ヒマスノハ、私ハ之ヲ西比利亞戰爭中ニ「コサック」ト我軍馬トノ關係ニ著シクソレヲ感シテ居リマス、我軍馬モ西比利ニ於テハ常ニ野繫ギラシテソレデ優良ナ結果ヲ得タト云フヤウナコトニ頭トナツタノデアリマス、初メハ穴倉ヲ掘リマシテソレニ入レテ置カネバナラヌト思ヒマシタガ、矢張り土地風土ニ適合シテ彼等ノ皮膚ト毛皮等ガ出來マス爲ニサウ云フ取扱ヒヲ致シテ差支ナイ、斯ウ云フコトニ私ハ考ヘテ居リマス

○湯淺倉平君 陸軍大臣ノ唯今ノ御答辯ハ、度私ノ疑ヲ裏書キセラレタモノデアアルト私ハ考ヘ、即チ優良ノ馬デモ飼ヒ手ニ依ツテ違フ「コサック」ガ飼ハバ穩カニナリ、或ハ樂ニ使ヘル、又日本人ガ使ツテ居レバソレハサウ參ラナイ、是ハ一ツハ國民性ノ相違モ其邊ニアルコトト思フ、在來ノ和種ニ致シマシテモ或ハ更ニ之ヨリ劣等ナ馬ニ致シマシテモ使ヒ手ガ宜ケレバ穩カニナルト云フ事實ハ是ハ爭ヘヌコトデアアル、即チ滿洲方面ニ於ケル支那人ノ使用ノ馬ノ有様ヲ見マシテモ誠ニ巧デアル、其馬ノ種類ハ或ハ驛馬ガアリ、馬ガアリ、普通ノ馬ガアリ、大小優劣非常ニ相違シテ居ルニ拘ハラズ、是ガ使役ニ付テノ功妙ナコトハ誠ニ驚クバカリデアアル、日本人ガ使役シテ居ル馬ハ甚ダ馴悍デアツテ御尋難イト云フコトノアルノハ、是ハ何人モ認メルコトデアアルト思フ、其相違ハアリマスガ、等シク同シヤウニ馬ノ調御ヲスル、同シヤウニ馬ノ使役ヲスルトシマシタ所デ、優良ナル馬ノ飼養管理ニ付キマシテハ、非常ニ注意ヲ拂ハナケレバナラヌ、非常ニ困難デアアルト云フコトハ、他ノ畜類ヲ見テモ同様デアアルト思フ、是ハ馬ニ限ラヌモノデアリマセヌガ、如何ナルモノテモ同様デアアル、牛ニシテモ犬ニシテモ……ソレデ優良ナル馬ヲ農耕用一途ニ使フトシテ考ヘマスト、是ハ却テ多クノ費用ヲ要シ、過ギタルハ及バザルト云フ結果ニナリハシナイカト思フ、實例ヲ舉ゲマスト對州馬ハ國ハ小サイ、或ハ木曾ノ馬ハ小サイ、木曾ハ優良ナル馬ヲ持テ居

タ所デ、是ハ農耕用ニハ適シナイ、不便デアル、對州ニ「サラ
ブレット」ノ血ノ混ツタヲ持テ行テモ不便デアル、是ハ
事實爭ハレナイコトト思フ、斯様ナ事實ヲ御承認ニナルカ
否カ

○國務大臣(山梨半造君) 少々話方違フヤウニ思ヒマス
ガ、私ガ「コサック」ト云フノハ使役ニ付テ云フコトデハアリ
マセヌ、飼養保管、即チ飼育方、保管ト云フコトニ付キマシ
テハ、是ハ日本人ト支那人、露西亞人ナドトハ大變ナ懸隔ガ
アリマス、此人ノ性質ニ依テ非常ニ馬ヲ其性質ニ近カラシ
ムルト云フコトハ、是ハアル、私ガ今申シマシタノハ「コサ
ク」選リガ飼育ト云フノハ極ク簡易ナ飼養デヤツテ居ル、
日本ノヤウニ手數ノ掛ルコトデヤツテハ居リマセヌト云フ
コトヲ申シタノデ、其境遇ニ依テ違フテ行クト實ハ申上ゲ
タ、對州ノ馬ニ木會ノ馬ノ御話デアリマスガ、是ハ土地等ノ
關係カラシテ決シテ優良種ガカイケナイ、優良種デナイ
カラ宜イト云フ意味デナクシテ、對州ノ道ガ猛ク岩石ニシ
テ屈曲多イ所ニテハ矢張り小サナ馬デナケレバイカヌノ
デアリマス、九州ニ於キマシテハ矢張り或ル山地ニ行キマ
スレバ矢張り小サナ馬ガ餘計ニ用ヒラレルト云フヤウハ信
コトニナリマスカラ、是ハ土地ノ關係ガ澤山アルト來シテハ
ジテ居リマス、私ノ今申上ゲマシタノハ少シ誤解ヲ來シタ
ヤウデアリマスカラ、申上ゲマシタガ、私ハ「コサック」ニ付テ
ハ飼養ノ管理ノ方ニ付テ實ハ申シタノデアリマス、簡易ナ
方法デ出來得ルモノデアアル、ソレハ習慣ニ依テ簡易ナ飼養
モ出來ルデアラウ、斯ウ云フコトヲ實ハ申シタノデアリマ
ス、ソレデ競馬ノ例モ出シマシテ、其コトヲテヨット例證シ
タ次第デアリマス、ソコハ誤解ニナラヌコトヲ一ツ御願イ
タシタウゴザイマス、私ノ説明モ惡カクカッタ思ヒマス

○湯淺倉平君 私ハ誤解ハイタシテ居ラス積リデアリマ
ス、ソレカラ過日來ノ御尋ハ日本ノ地勢カラ顧ミテ、農
耕用ノ馬ニ付テノコトヲ御尋ネシテ居ルノデアリマス、
從ツテ或ハ對州ト云ヒ木會ト申シタノハ、其程度ノ甚ダンキ
例ヲ舉ガテ御尋シタニ過ギナイノデアリマス、之ヲ耕作ノ
上ニ考ヘテ、馬耕ヲイタスモノトシマシテ、改良サレタル偉
大ナル馬ヲ日本ノ狭イ場所ニ於テ、又高低ノアル耕地ニ於
テ之ヲ用ヒルト云フコトハ適當ナリト云フコトガ甚ダ受取
リ難ク思フノデアリマス、去リナガラ是等ノ點ニ付キマシ
テ、何カ御用ノアル陸軍大臣ヲ御引留申スノハ、私ノ本意デ
アリマセヌカラ、其點ニ付キマシテ重ネテ伺ヒマセヌ

○國務大臣(山梨半造君) チヨット一言申上ゲテ置キマス
ガ、私水田ヲ耕スニイタシマシテモ、其使役法如何ニ依ツテ
ハ現ニヤツテ居リマスカラ、是ハ出來得ルモノダト思ヒマ
ス、南部若クハ秋田邊ニ行キマスト云フト、日本ノアノ水田

デモ、馬ヲ使用シテサウシテ耕シテ居ルノデアリマスカラ、
其方法如何ニ依ツテハ十分ニ其コトガ出來ルト私ハ思フ、テ居
リマス、此農耕ト申シマスノハ、私ハ之ハ運搬ニ澤山使ハレ
ルノダト斯ウ思フテ居リマス、ソレデ土地ニ依ツテ馬ノ大小
モアリマスガ、朝鮮、九州ノ北部、是等邊リノ所ヘ行キマス
ト、馬ガ改良セラレマシテ、京城附近ニ於テハ日本馬ノ多數
ヲ見ル、又九州北部ニ於テハ非常ニ太イ大キナ馬ヲ使ツテ居
ル、コウ云フコトニナリマシタ、是ハ交通如何ニ依ツテ非常
ニ馬ノ改良ト云フモノガ、非常ニ迅速ニ行ハレルトデアラ
ウト斯ウ思フテ居リマス、元來九州ノ馬ハ細カッタ、朝鮮ノ
馬モ對州馬ノ如ク小サカッタ、昔ノ交通デハ斯ノ如キ馬デハ
行ケナカッタノデアリマスケレドモ、交通ガ開カレマシテ、
馬ガ改善サレマスト云フト、大キナ馬、即チ一時ニ多クノモ
ノガ運搬セラレルヤウニ總テノ計畫ガ出來マス爲ニ、總テ
陸軍ノ此輕輓馬ト云フモノハ私ハ實ハ日本ニハ餘程適合シ
テ居ルモノト考ヘテ居ツテ、其コトヲ申上ゲタ次第デアリマ
ス、ソレダケノコトヲ私ハ申上ゲテ置キマス

○湯淺倉平君 然ラバ私ハ他ノ側カラ御尋イタシマスガ、
此帝都ノ眞中ノ大道、坦々砥々ノ如キ所ニ近年非常ニ多クノ
朝鮮牛ガ輸入サレ、足ガ輓馬ノ代用ヲナス傾向ガ非常ニ盛
ニナツテ參々原因ヲ如何ヤウニ御考ヘナリマスカ

○國務大臣(山梨半造君) 朝鮮牛ノ輓イテ居ル車ハ小サ
ナモノデアリマシテ、アレデ事足レルト云フモノガ多イヤ
ウニ思フノデアリマス、ソレデ此東京ノ眞中デ輓馬ヲ用ヒ
ルノニイタシマスト云フト、恐ラケハ皆百貫以上ノモノヲ
車ニ積シテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、百貫以
上ノモノヲ積ムト云フコトニナリマスト云フト、矢張依然
馬ガ必要ダト云フコトデ、馬ヲ用ヒテ居ルヤウニ私ハ思ヒ
マス、只小サイ二輪車位デハ馬ノ力デハ餘ルト云フコトニ
ナリマスカラ、朝鮮牛ヲ使ツテ居ルト思ヒマス、併シナガラ
是ハ今申サレル通り飼養ガ朝鮮牛ハ餘程簡單デアリマシ
テ、此近在ニ於テハ餘程適合シテ居ルト私ハ信ジテ居リマ
ス、加之此節ハ自働車ガ出來マシタ爲ニ、此都ノ眞中デハ重
イモノハ自働車ニ今度ハ移ルト云フヤウナコトガアリマン
テ、是等ノ事カラシテ、馬ガ漸次減ツテ行キマシテ、サウシテ
牛ト自働車ニ變更サレタ次第デアリマシカ、實ハ斯ウ思フテ
居リマス、自働車方使ハレル區域以外ニハ矢張此馬ガ費用
サレテ居ルヤウニ私ハ考ヘテ居リマス、自働車ト云フヤウ
ナモノガ出來マシタカラ、從ツテ是ハ馬ノ數モ今ノ所デハ
減ツテ居リマスガ、私ノ考デハ、交通ガ段々良クナリマス
ト云フト自働ノ運轉ニベカラザル所ハ矢張馬ガ餘計使ハレル
ヤウニナリハスマイカト、斯ク云フ工合ニ私ハ考ヘテ居リ
マス、只是ハ私ノ考デアリマス

○湯淺倉平君 事實ノ認定ノ付キマシテハ之ヲ度、申ス必
要ハナイト思ヒマスガ、詰リ、只今御答辯ニナリマシタ一部
ニモ飼養管理ガ……馬ノ飼養管理ニ付テハ多クノ費用ヲ要
スルカラ、從來馬ヲ用ヒテ居ツタモノデモ適當ナ種類ノ荷物
デアレバ馬ニ換ヘルニ牛ヲ以テスルト云フコトニナルト云
フ事實ハ御認メニナツテ、サウスルト云フコトニナルト云
フ、寧ロ偉大ナル馬ガ適當ナ場合モアリマセウケレドモ、又
馬デナクシテ、牛ノ方ガ費用モ掛ラナイ、便利デアル、斯
フコトノ關係ヲ益々多クシテ來ルト云フコトハ免レマイ
ト思フ、併ナガラ之モ事實ノ認定ニ關スル所見ノ相違ニナ
リマスカラ、繰返シテ此點ハ申シマセヌ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 陸軍大臣ニ今日御質問ニナル
必要ノ御方ガゴザイマセウデスカ

○男爵名和長憲君 アリマス、陸軍大臣ニチヨット……是
ハ直接本條ニ關係ナイカモ知レマセヌガ、馬政局ヲ農商務
省ニ移管セラレルト云フコトハモウ既に決定テ居ルヤウナ
コトニ承ツテ居リマスガ、元ノ畜産ノコトハ農商務省デヤツテ
居タモノヲ、或ル年ニ於テ陸軍ノ方ニ馬政局ダケ移サレタ
ノデ、而シテ以來其馬政ノコトニ色ノ計畫サレマシテ、十八
年計畫ト云フヤウナ馬ノ改良ニ付テノ計畫ガ立テ居リ
マス、而シテ此際之ヲ農商務省ニ移管サレト云フコトハ甚
ダ變ナヤウニ考ヘルノデアリマス、例ヘバ農商務省デハ
他ノ畜産ノ事業モ多クアリマシタ、陸軍デハ馬政局デ馬ノ
コトダケ主管サレテ居リマスカラシテ、馬政上至ソレハ
宜イト考ヘルノデアリマス、將來益々此產馬ノ改良發展ト云
フコトヲ期スル必要ガアル時ニ於キマシテ、之ヲ今農商務
省ニ移管サレルト云フコトハ少シ不利ナ狀況ニ陥リハセ
ヌカト斯ウ考ヘルノデスガ大臣トシテドウ云フヤウナ御考
デ、之ヲ農商務省移管サレルト云フコトデアリマスカ

○國務大臣(山梨半造君) 其概略ハ本會ニ於テ申上ゲマシ
タ通り、私ハ大キク之ヲ分業ニ致シマシテ、其分業ニ從ツテ
各省ガ總テノ點ニ働キ得ル、斯ウ云フ公正な眼ヲ以テスル
ガ然ルベキカト考ヘマシタ、住年私ガ中スモ甚ダ島津ガマ
シイデアリマスルガ、各省ガ分業ニ各各個ニ働イテ居
テ、只自分ノコトヲスルト云フヤウナ景況ノアリマシタ時
トハ、最早遠ツテ居ルト思ヒマス、ソレデアリマスカラ、陸軍
デ使用スル馬ニ向ツテハ陸軍カラ要求ラシテ其要求ヲ各省
ガ分業ニ從ツテ充タシテ行ク、斯ウ云フヤウニ一致協同シテ
行ク方ニ各省ハ盡力シテ行キ得ルト實ハ信ジタ次第デアリ
マス、ソレデ最モ農業ニモ大變ナ關係ガアリマスルカラ、私
ハ之ヲ農商務省ガ適當ニヤツテ、軍馬ニ宜イ物ハ、即チ軍馬
ト云フヤウナ工合ニ方針ヲ採ツテ頂戴スルヤウニ實ハ協議シ

タノデアリマス、第一期ハ即チ今年デ終ルコトニナリマス、十三年カラ第二期ニ入ルノデアリマシテ、順序ガ丁度宜イト思ヒマス、此一年間ニ農商務省ニ於テ第一期ノ計畫ヲナシ、次年度カラ第二期ニ移ルト云フコトニナク、ノガ宜カラウト思フタノデ、此時期ヲ擇ンダ次第デアリマス

○男爵名和長憲君 私共ノ考方デハ今度之ヲ農商務省ニ移管サセルト云フコトハ、テヨット、喩ガ可笑シクアリマスケレドモ、澤山子供ノアル處ヘ持ッテ行ッテ一人息子ヲ養子ニヤツト云フ風ニ思ハレル、一人息子ヲ可愛ガッテ育てル、云フコトハ極メテ教育モ躰モ出來ル、親ノ思フ通り出來ル、大勢子供ノアル處ヘ持ッテ行ッテ其子供ヲヤルト云フコトハ、甚ダ手ガ廻リ難キ、ソレト同ジヤウナコトデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘマス、之ヲ農商務省ニ移管サレルト云フコトハ馬政上將來不利ナ點ガ生ジハセヌカト云フコトヲ甚ダ疑フノデアリマス

○國務大臣(山梨半造君) ソレハ子供ノ例ガ出マシタカラ子供一人ニ保姆一人附ケマスコトハ、子供五人ニ保姆一人ヲ附ケルヨリ宜イニ定ッテ居ルト思ヒマス、思ヒマスルガ、國家ノコトヲ分擔シテ、サウシテ其職責ニ努力シテ行クト云フノハ、私ハサウ云フ區分區分デアリマシテ、農商務省ハ農馬ニ適當ナルモノヲヤル、陸軍ハソレヲ引取ッテ陸軍ニ適當ナル馬ヲ拵ヘルト云フヤウナコトニナリマシテハ、是ハ國家ノ爲ニ餘リ面白クナイジヤラウト、實ハ信ジテ居ル一人デアリマス、ソレデ其點カラ大キナ眼カラ私ハ公平ニ實ハ判斷シテ此措置ヲ農商務省ト協定ヲ致シタ積リデアリマス

○男爵名和長憲君 今大臣ノ御答辯ニ付キマシテモ、一應御尤モニ考ヘマスガ、併シモウ既ニ定ッタクコトヲ、今更彼是云フノモ困難ナコトデアリマセウガ、併シ將來ハ農商務省ニ對スル陸軍省ノ御手數ガ随分掛ルダラウト考ヘルノデアリマス、ソレハ無論サウ云フ御覺悟ガ、アルコトト信ジマスルデ、私モソレ丈ノコトニシテ置キマス

○國務大臣(山梨半造君) ソレニ付キマシテハ事務官ヲ陸軍省カラ附屬シテ置ク積リデアリマス
○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 他ニ陸軍大臣ニ御質問ヲ要スル件ハゴザイマセヌカ……ソレデハ今日ハ之デ散會致シマシテ次ノ會期ハ彙報ヲ以テ御通知イタシマス
午前十一時四十五分散會
出席者左ノ如シ

- 委員長 伯爵兒玉 秀雄君
副委員長 男爵宇佐川 一正君
委員

國務大臣
政府委員

- | | | |
|------|------|------|
| 陸軍中將 | 渡邊 | 爲太郎君 |
| 陸軍大臣 | 山梨 | 半造君 |
| 侯爵細川 | 子爵高倉 | 護立君 |
| 子爵井上 | 子爵秋田 | 永則君 |
| 子爵西尾 | 子爵西尾 | 匡四郎君 |
| 荒川 | 重季君 | 重季君 |
| 男爵名和 | 忠方君 | 忠方君 |
| 加太 | 義太郎君 | 義太郎君 |
| 川上 | 長憲君 | 長憲君 |
| 湯淺 | 邦憲君 | 邦憲君 |
| 犬上 | 親晴君 | 親晴君 |
| | 食平君 | 食平君 |
| | 慶五郎君 | 慶五郎君 |

大正十二年三月二十二日印刷

大正十二年三月二十三日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局